

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

文部科学省が、平成28年10月～11月に、小中学校の抽出校による教員勤務実態調査を実施し、平成29年4月に調査の集計（速報値）を公表した。本県においても同様の調査を行うことで、本県の教員の勤務実態を把握するとともに、全国との比較等を通して、今後の教員の多忙化改善に向けた取り組みへの基礎資料としていく。また、県立学校（高等学校・特別支援学校）においては、文科省が調査を行っていないため、本調査により実態を把握し、同じく多忙化改善に向けての基礎資料とする。

## (2) 調査対象

### ① 対象校種

文部科学省は小中学校を対象としていたが、本県調査においてはこの機会に高等学校（定時制・通信制を含む）及び特別支援学校も含めて実施することとする。

### ② 対象職員

教員（校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭・講師、実習助手、養護教諭、栄養教諭）で、フルタイム勤務職員全員を対象とし、任用形態は再任用及び臨時的任用職員（期間採用職員、産休等代替職員等）も含む。

### ③ 対象校数

地域性等を考慮（高等学校においては課程や学科等も考慮）して、調査対象学校を選定

## (3) 調査実施時期

① 県立学校 9月25日～10月1日（予備：10月2日～8日）

② 小中学校 10月16～22日（予備：10月23～29日）

## (4) 調査内容

文部科学省で行った全国調査を基に行うが、文部科学省より公表されていない部分に関しては、公表資料から準じた内容で調査を実施する。県立学校については、文科省調査の設問及び回答選択肢を県立学校用に修正したものとする。

## (5) 調査方法

回答する調査票（EXCEL ファイル）は、教育事務所を通して学校に配付。学校は各職員へ配付し、職員が入力を終えたものを学校がとりまとめ、教育事務所を通して県教委事務局へ提出する方法で実施。

## 2 回答者の属性

### (1) 男女比 (%)

	山 梨				全国	
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	小学校	中学校
男性	39.3	58.3	66.9	34.2	38.6	57.7
女性	60.7	41.7	33.1	65.8	61.0	41.9

○本県の小中学校教員の男女比は、小学校では女性教員の割合が60%以上、中学校では男性教員の割合が約60%という状況で、全国とほぼ同様の割合となっている。

○県立学校教員の男女比は、高等学校は男性教員の割合が約67%、特別支援学校では女性教員の割合が約66%を占める状況となっている。

### (2) 年齢構成 (%)

	山 梨				全国	
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	小学校	中学校
30歳以下	20.8	22.6	10.4	21.7	25.9	24.4
31～40歳	13.7	17.1	18.3	26.5	22.5	23.1
41～50歳	23.0	26.3	30.8	23.7	24.7	23.4
51～60歳	41.3	33.4	38.6	26.3	25.3	27.3

○本県の小中学校教員の年齢構成は、全国と比べて40歳以下の教員の割合が低く、41歳以上、特に51歳以上の教員の割合が高い。

○特別支援学校の年齢構成は、各年代のバランスが取れているが、高等学校では、41歳以上の教員が約7割を占めるなど、中堅や若手が少ない状況となっている。